



「継続は力なり」



吉野川市立鴨島小学校
校長室だより 第34号
令和6年1月9日

学校教育目標：自他の生命と人権を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

新たな年を迎えて ～心機一転、龍のごとく飛躍の一年に！～

あけましておめでとうございます。いよいよ新しい年（令和6年：辰年）の幕開けです。
 6年生は中学校への進学という飛躍の年。来たるべき卒業証書授与式（3/15）まで約3か月。小学校生活の有終の美を飾るためにも一日一日を有意義に、最高学年としての範を示すことで、在校生へのバトンタッチを期待したいと思います。

『一年の計は元旦にあり』の言葉どおり、今年一年の目標（夢）を立て、全児童がチャレンジ精神で自らの未来を切り拓く土台となる第3学期にしてほしいと思います。そのために我々教職員もがんばります！



「3つの幸せ」とは・・・ ～最高の幸せ&豊かな学校～

人間には「3つの幸せ」があると言われています。それはどんな幸せでしょう。

1つ目は、「してもらう幸せ」です。例えば、赤ちゃんがオムツを替えてもらったり、泣いたときに抱っこしてもらったりしたとき、幸せな気持ちになります。もちろん児童も、家族や友達、先生から何かしてもらおうと嬉しくなると思います。これが「してもらう幸せ」です。



2つ目は、「できる幸せ」です。例えば、字が書けるようになった。テストの点が悪くなってきた。跳び箱や縄跳びができるようになった。一人で自転車に乗れるようになった。習い事が上手になった等々……。言い換えると「自分でできるようになった幸せ」です。何でも自分でできるようになると嬉しくなります。

そして、**3つ目**の幸せ。これが一番大事であり、最高の幸せです。一体、どんな幸せだと思いますか？それは、「してあげる幸せ」です。「誰かが困っていたら助ける」、「友達が独りぼっちでいたら声をかけて一緒に遊ぶ」など、他人に対して「してあげる幸せ」です。誰かに思いやりの心をもって何かをしてあげれば、その人は嬉しい気持ちになり、喜び、笑顔になって「してもらう幸せ」を感じます。でも、その喜んで笑顔になった姿を見ることで、実は自分自身も「してあげる幸せ」を感じて、同じように「幸せ」な気持ちになるのです。また、そういう優しい人は誰からも好かれますね。だから、その人のまわりにも同じように「してあげる幸せ」を感じる優しい人たちが自然とたくさん集まってくるのです。

「してもらった人」、「してあげた自分」、「自分のまわりに集まってきた人」、たくさんの人が幸せになる「してあげる幸せ」。これこそ最高の幸せではないかと思うのです。**多様な人間が多く集い、共に学ぶ学校社会。自分と違う人を受け入れ、思いやりの心で共に成長していこうとする共生社会の実現**が、今求められています。

新たな年を迎え、いよいよ今日から年度の締めくくりとしての第3学期が始まります。子供たちには自分の力で「できる幸せ」を味わえる第3学期にしてほしいし、何よりも、人に何かをしてあげることによって、たくさんの人が「してあげる幸せ」を感じられる豊かな鴨島小学校になることを願っています。



☆ 2月4日（日）午前、今年度最後の授業（発表）参観日 ☆

詳細は、明日配布のご案内を確認ください。特に、6年生は総合的な学習の時間に取り組んで来た「防災学習」の集大成としての発表会があります。在校生も、学びの集大成としてこの一年のお子様の成長の姿を見てあげてください。参観をお待ちいたしております。



「校長室・学年」だよりは、HPではカラーで見ることができます→

鴨小QRコード